

鳥栖中 学校だより

令和8年度

No.2

2026.5.1

発行者(文責):校長 北原哲也



希望を胸に

希望の像

《めざす生徒像》

- ✧希望を胸に、自ら学び、考え、行動し、学びを未来につなげる生徒
- ✧互いを認め合い、仲間とともに挑戦し成長する生徒
- ✧挨拶・時間・清掃を大切にした社会性のある生徒

あいさつが響く、心の通いあう学校 ~鳥栖中の朝が教えてくれること~



↑新学期が始まり、気づけば風薫る5月を迎えました。校門に立っていると、毎朝の光景に胸が温かくなります。本校の生徒の9割は徒歩で登校しますが、その歩みが心の栄養になっているのか、どの子も表情がほんとうに清々しいのです。すれ違うたびに返ってくる笑顔と元気な挨拶は、学校全体を明るく照らしてくれます。「今日どんな希望を胸に登校しているのだろう」と、思わず一人一人に尋ねたくなります。遅刻もほとんどなく、8時05分を過ぎると、小走りで校門を駆け抜けていく生徒たち。それでも挨拶をしてくれます。息を弾ませながらも「おはようございます」と言ってくれる姿に、思わずこちらが励まされます。こうした姿は、家庭での温かな関わりはもちろんのこと、登校途中で地域の皆さまに見守られ、声をかけていただいているからできること。生徒たちが気持ちよく徒歩通学し、時間を意識し、挨拶を大切にできるのは、地域ぐるみの支えがあってこそだと、改めて深く感謝を申し上げます。子どもたちの歩く姿と挨拶の声、鳥栖中学校の“希望”そのものと強く感じるこの頃です。これからも、地域・家庭・学校が力を合わせ、子どもたちの未来を見据えて育んでまいりますので、ご協力とご支援をお願い申し上げます。

1年生、授業スタート 盛り上がっています!

1年5組英語の授業(松野洋子先生、ALT ミスタービー先生)



←入学して3週間が経ちました。オリエンテーションや学力テストがようやく終わり、本格的に各教科の授業がスタートしました。新しいクラスでは、友達とのコミュニケーションがよく取れ、担任の先生と笑顔で話す姿がたくさん見られます。左の写真は、1年5組の英語の授業ですが、ALTのミスタービー先生からクイズが出され、盛り上がっていました。本校では、主体的・対話的で深い学びの実現に向け、「基礎基本の習得」「基礎基本をもとに課題解決のために活用する力」「主体的な学習態度」を意識した授業づくりを行うことを目指しています。また、ICT活用(ロイロノート)を積極的に活用して、生徒の学習意欲に繋がるよう、職員の研修会にも取り組んでいます。

先生方も「授業づくり」をがんばっていますよ!ロイロノート研修会

→愛知県から講師 後藤すみれ先生を招き、ロイロノート研修会が行われました。子どもたちの学習意欲を掻き立てる様々な思考スキルが満載し、授業づくりに花が咲いた貴重な90分でした。昨年度からロイロを活用していますが、「こんなこともできる!」と新たな発見もあり、今後が楽しみです。それにしても後藤講師の流暢な説明とロイロ活用は、職員を引き込む魔法の時間でした。



ロイロノートのQRコードから「説明動画」をご覧ください

1年生、交通安全教室 自転車の乗り方考えて!

交通違反のクイズに答える1年生!



鳥栖警察署交通課 秀島さん

自転車を利用される皆さんへ

2026年4月1日から
自転車の
違反に「青切符」が導入!

対象 16歳以上
※運転免許の取得は義務なし

通行区分違反(右側通行等)	指定場所一時不停止等
6,000円	5,000円
携帯電話使用等(保持)	無灯火
12,000円	5,000円

違反の一例です。

本校の校内研修のご紹介! (後半は、保護者の皆様へお願いです!)

□研修主題

「情報活用能力を育成する授業と業務改善の構築」

～ ICTの効果的な活用を通して ～

- ①ロイロノートを活用しながら、各教科で育成を目指す資質能力を養う
- ②業務改善(校内業務の洗い出し・改善策の立案と実践)



【確かな学力の定着】

- ①授業改善の推進
 - ・基礎・基本の定着
 - ・学習サイクル徹底と学びの見える化
 - ・ロイロノートの効果的な活用
 - ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくり
 - ・学習の実態把握と個に応じた指導
 - ・教科「日本語」の推進
- ②学習指導の共通理解、実践
 - ・学習規律の共通実践
 - ・授業のUD化
- ③家庭学習の充実
 - ・家庭学習の効果的な取組と支援
- ④校内研修と校内研究の推進
 - ・教師の専門性の向上

本校では、教職員が子どもたちと向き合う時間を確保することが、学力の向上だけでなく、心の成長を支える教育にも直結すると考えています。丁寧な教材研究や、生徒一人一人の変化に気づくための時間が確保されてこそ、質の高い授業と温かい関わりが生まれます。

今年度の校内研修では、ICTの積極活用を進め、授業改善と業務効率化の両面から教職員の時間を生み出す取組を進めています。研修主題は上記に示していますが、特に授業では、「ロイロノート」の活用により思考の可視化や振り返りの質の向上を図り、協働的な学習と個別学習のスキルアップに努めていきます。ロイロノート活用で育つ力は、思考力、表現力、協働力、自己調整力(見通しや振り返りや等)など、将来への資質能力の向上です。また、教職員の業務改善では、時代とともに、校内業務の洗い出しと改善策が必要です。喫緊の課題である教員の時間外勤務超過を改善していくためには、いじめや問題行動、事故等のない安心・安全な学校づくりはもとより、校務における事務作業の効率化、または外部に委ねられる業務の整理など、研修やコミュニティスクールを通じて改善を図り、様々な協力を経て教職員が子どもと向き合う時間の確保に努めて参ります。

以下は、文部科学省が示す働き方改革の4つの改善領域です。この方向性を本校も積極的に取り入れていきます。

- ①業務の精選・適正化・・・不要な業務の精選、調査・統計の見直し、学校行事の精選
- ②学校以外が担う業務の明確化・・・地域ボランティアへの依頼協力(コミュニティスクールの充実)、部活動地域展開
- ③ICT活用による効率化・・・事務作業の効率化、教材の共有化、校務支援システムの活用(出欠遅刻、成績、時間割、文書配信)、電話対応の見直し(留守電導入、対応時間の設定)、紙媒体の制限
- ④学校マネジメントの改善・・・教職員の在校等時間の把握、勤務時間管理、コミュニティスクール活用

《保護者の皆様へ》

保護者の皆様方には以下の点について、ご理解とご協力をお願いします。

- ・保護者宛「通知」や「欠席・遅刻・早退連絡」、「各種アンケート」、「面談予約」等は、連絡アプリ「すぐる」を活用して行います。保護者は可能な限り登録していただき、日々確認と、必要に応じたご対応をお願いします。
- ・生徒のトラブルは多岐にわたりますが、特にスマホ等における個人情報(SNS等)の取り扱い、ご家庭で責任をもってご指導ください。犯罪に係る場合は、警察への相談をおすすめしています。
- ・ご家庭内で、お子さまの様子等で気になる点がありましたら、速やかにご一報くださいますようお願いいたします。



学校教育目標: ふるさと鳥栖に誇りを持ち「学び合い、支え合い、高め合う」生徒の育成

めざす学校像: 「一人一人が大切にされ、「希望」を胸に、未来を切り開く学校」

